

1. 概要

国民の防災意識の向上、避難行動の定着等を図るため、国民各層の多様な団体・機関等が一堂に会し、防災に関する総合イベントを実施。

【テーマ】大規模災害への備え～過去に学び未来を拓く～

【日時】平成28年8月27日（土）～28日（日）

【場所】東京大学本郷キャンパス

【主催】第1回防災推進国民大会実行委員会（内閣府、防災推進協議会、防災推進国民会議）

2. 開催実績

- (1) 出展団体数 61 団体
- (2) 出展数 82 催事
- (3) 来場者数

	27日(土)	28日(日)	合計
来場者数（実数）※1	約7,000人	約5,000人	約12,000人
うち安田講堂入館者（延べ）※2	約3,000人	約1,500人	約4,500人

※1 各種指標からの総合判断

※2 ・マンカウンターによる延べ人数（同一人物が2回入場したら2人）
 ・展示のみの見学者含む

- (4) 動画生中継閲覧数 約1万2千人

3. 当日の様子

安田講堂



安田講堂へ向かう入場者



特別基調講演



回廊における展示



案内看板



開会式



特別シンポジウム

正門



案内看板

3. 当日の様子 (続き)

山上会館



ワークショップ(日本学会会議・防災学術連携体)



避難所図上訓練(日本損害保険協会)



防災科学実験ショー(全労済)



くまモン出演



くまモン出演



地震ザブトン(全国消防長会・東京消防庁)

©2010熊本県くまモン

3. 当日の様子（続き）

理学部



シンポジウム

(内閣府(科学技術・イノベーション担当)/

文部科学省/科学技術振興機構/防災科学技術研究所)



オリジナル防災グッズづくり

(日本生活協同組合連合会)



入場を待つ来場者



地区防災計画フォーラム

(内閣府防災担当)



シンポジウム

(MS&ADインシュアランスグループ)



講義

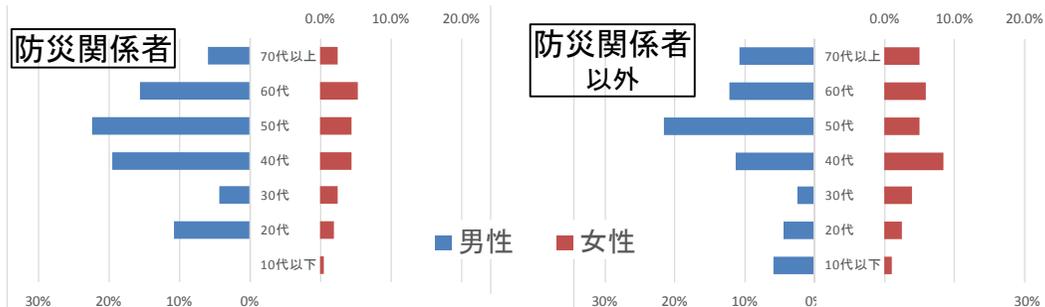
(消防庁/日本消防協会/全国消防長会/
日本防火・防災協会)

4. アンケート結果

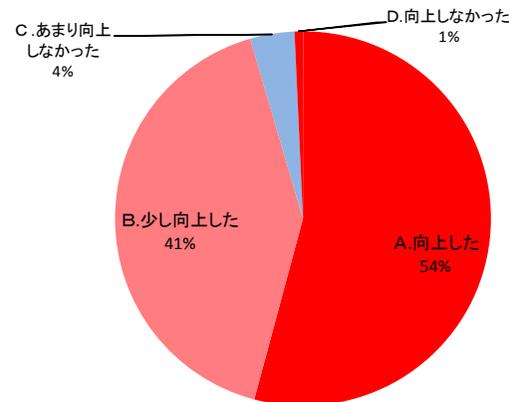
(1) 来場者アンケート

来場者全員を対象にアンケートを実施。442人から回収。

回答者像
・男性 73%、女性 27%
・防災関係の職業 49%、それ以外 51%

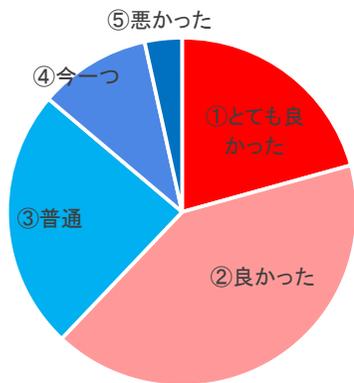


95%が、大会で防災意識が向上したと回答



(2) 出展者アンケート

全出展者を対象にアンケートを実施。
29団体から回収



出展して
良かった以上が約 6 割
普通以下が約 4 割

○肯定的な主な意見

- ・様々な分野の人々、一般参加者と交流できた。PRもできたし、新鮮な刺激も受けた。
- ・プログラムの内容が、一般の人にわかりやすいものが多かった。
- ・政府の取組姿勢がたいへん積極的であった

○否定的な主な意見

- ・会場が分散していた。 ・案内看板が少ない
- ・並行して開催する講演の数は限定すべき

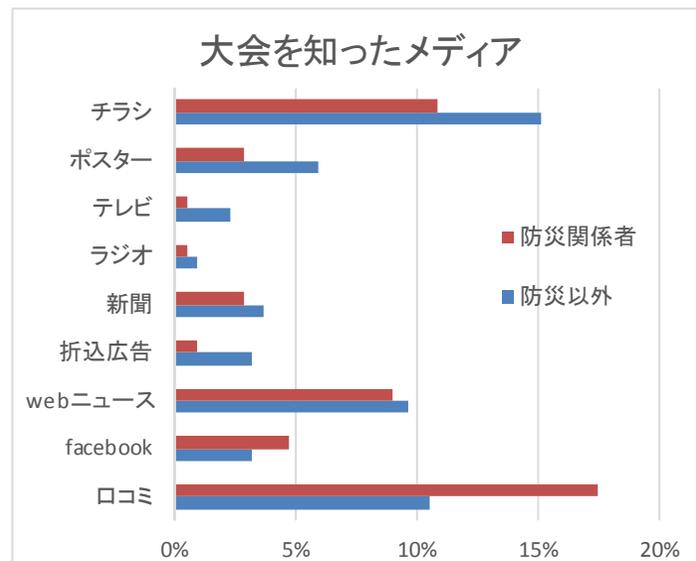
○次回大会に対する意向

- ・全ての回答が次回以降も出展したいというもの
- ・様々な地方で開催する良い

5. 各種広報

(1) マス媒体による広報

- ・新聞折込チラシ 15万枚(8月25日)
- ・新聞広告 朝日、読売、毎日、東京、産経(8月23日または24日朝刊)
- ・テレビ生CM (TOKYO MX「5時に夢中!」 8月26日)
- ・ラジオ生CM (TBSラジオ 8月22日、8月24日、8月27日)
- ・駅貼ポスター 【丸ノ内線】池袋駅、後樂園駅、御茶ノ水駅、東京駅
【南北線】東大前駅、千代田線 根津駅
- ・閣議後記者会見における大臣発言(3月25日、8月2日、8月24日)
- ・内閣府プレスリリース
- ・特設ホームページ <http://bosai-kokutai.jp/>
- ・フェイスブック <https://www.facebook.com/bousaikokutai/>
- ・内閣府防災等SNS



(2) その他個別広報

- ・出展者、防災推進国民会議、防災推進協議会、日本防災産業会議、日本防災プラットフォーム等のネットワークを通じたチラシ配布等による告知
- ・文京区、豊島区、荒川区、台東区の区立幼稚園、小中学校に通う全ての児童・生徒にチラシ配布(一部除く)
- ・文京区報での告知
- ・文京区立主要施設でのチラシ配布
- ・文京区の全ての町会への案内

6. 各種報道

- ・TV報道 TBSテレビ「報道特集」等
- ・各種新聞社(毎日新聞、日本経済新聞、共同通信、東京新聞、日刊建設工業新聞)等
- ・他各種メディアでの取り上げ多数